

2020年3月27日

各国公私立大学長
各公私立短期大学長 殿
各国公私立高等専門学校長

就職問題懇談会座長

山口宏樹

(埼玉大学学長)

「2021年度大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者
に係る就職について（申合せ）」について

標記のことについて、我々国公私立の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）関係団体の代表で構成する就職問題懇談会では、大学等卒業・修了予定者の就職・採用活動の秩序を維持し、正常な学校教育と学生の学修環境を確保するとともに、学生が自己の能力や適性に応じて適切に職業を選択できるようにするため、大学等が取り組むべき内容をまとめた「2021年度大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について（申合せ）」（別紙。以下「申合せ」という。）を定めました。

就職・採用活動については、学生の学修環境の確保を図るため、大学側と企業側で長年にわたり、活動の早期化・長期化の是正について議論を行ってきました。現行の就職・採用活動の枠組みで示される就職・採用活動開始時期（広報活動3月・採用選考活動6月）については、就職活動の極端な早期化・長期化を抑制し、秩序ある就職活動に貢献するとともに、学生の学修環境確保への良い影響が確認されているところです。また、日程を含めた現行の枠組みは5年連続で維持されており、学生・大学・企業の間でおおむね共有されているところでもあります。

これらのことから、無用な混乱を避けるためにも、現行の日程と枠組みを維持するべく、本申合せを策定するものです。

については、別紙の「申合せ」の内容に御留意の上、各大学等におかれては、正常な学校教育と学生の学修環境が確保されるよう全教職員が連携・協力し、全学一丸となった対応をお願い申し上げます。

なお、就職問題懇談会は企業等へ要請する事項を整理し、就職活動の秩序維持について経済団体等に対し要請を行うことを申し添えます。

また、現在、少子高齢化による労働人口の減少の加速化、グローバル化のさらなる進展や Society5.0 時代を迎える中で、企業間における学生の確保に向けた動きがますます活発化し、秩序ある就職・採用選考活動を維持する上で、学生の学修時間の確保を大前提としつつも、これまでの枠組みについて何らかの工夫・改善を図ることが求められております。このため、2022年度以降の申合せ検討に際しては、特に、2019年1月から行われている経団連主催の「産学協議会」における活発な意見交換の結果等も踏まえながら、より良い環境の創出に向けて検討していくこととなりますことも申し添えます。